

プログラム
活動
レポート

元気もんウォーク「山の会」活動レポート ～八方ヶ岳登山～



今年長梅雨で梅雨明け宣言が出されたのは7月末だった。待望の夏空が現れた8月1日、クラブ南阿蘇山の会の例会で八方ヶ岳に登る。今回の参加者は15人でやや少ない。毎月、往復3時間程度の初級の山と5時間程の中級の山に登っているが、今回は梅雨明け直後でしかも中級の山だったので、体力面で不安を抱いている希望者が何人か参加を控えられた。熱中症が多発していた時期だったので、山の会としても無理を避けた。早朝7時、長陽庁舎駐車場に集合し車に乗り合わせて出発。八方ヶ岳は菊池市と山鹿市の境の山で、標高1,052mだ。登山口の手前には彼岸花の棚田で有名な番所があり、この地を訪れた方も多いのではないだろうか。八方ヶ岳には、昔天狗が住んでいたなどの奇怪な伝説があり、山頂には信仰

の対象になっている石祠がある。

この山は標高があまり高くない山ではあるが、まるで高山のように変化に富んでいる。登山口から3合目ぐらまでは水音高く溪流が流れている。ルートのは半分は原生樹林の中で、木漏れ日の山道をゆっくりと登った。8合目辺りは岩場で、緊張しながらもスリルを楽しんだ。休憩を十分とりながら、各人のペースで歩いたので、先頭と最後尾はやや長くなったが、それでも全員が標準のコースタイムで山頂に立てた。

山頂は広くさえずるものがなく、空気が澄んでいる日ならば、久住、阿蘇、祖母、釈迦、雲仙とぐると展望が得られるのだが生憎その日の視界は悪く、遠望の山々は霞んでいた。山頂には中学生の集団もいたので、賑やかな中でお弁当を食べる。

下りも同じ道を辿る。溪流の所まで戻り、そこで大休憩した。冷たい水に足をつけたり、滝の冷気で体を冷やしたり、今日の山行の最後を楽しんだ。(末松)



体験教室 ～はじめての切り絵に挑戦！～



8月17日(月)長陽中央公民館において、切り絵体験教室を行いました。講師は、西日本和装学院 教授補 熊本県支部長 古田紗夜子さんです。見本として並べられた数々の作品を見て、細かな作業と美しさに思わずため息…魅了されます。他にも手描友禅などさまざまな分野で受賞されるなど活躍されています。

今回、参加者の中には親子三代で参加していただいた方も。とても微笑ましい光景でした。体験では簡単な2枚の絵柄を用意。黒用紙に下絵を貼り付け、切り絵用のカッターナイフで白い部分だけを丁寧に切り取っていきます。慣れていないので、つつい指に力が入り痛くなります。切り取った絵柄は1枚でつながっています。白用紙にスプレーのりで貼り付け出来上がり。今後も開催予定。次はどんな絵柄が楽しみです。



今回、参加者の中には親子三代で参加していただいた方も。とても微笑ましい光景でした。体験では簡単な2枚の絵柄を用意。黒用紙に下絵を貼り付け、切り絵用のカッターナイフで白い部分だけを丁寧に切り取っていきます。慣れていないので、つつい指に力が入り痛くなります。切り取った絵柄は1枚でつながっています。白用紙にスプレーのりで貼り付け出来上がり。今後も開催予定。次はどんな絵柄が楽しみです。

陶芸教室 ～文化祭に向けて作品作り(8月)～



今年も村の文化祭に向けて、それぞれオリジナリティーに富んだ作品を制作中。皆さん試行錯誤しながら楽しんで作っています。どんな作品が出来上がるのか、文化祭当日が楽しみです。8月は夏休み期間でもあり、昼の部ではお孫さんを連れての参加や、夜の部では親子参加もあり、子どもたちも作品作りを楽しみました。夏休みの楽しい思い出のひとつになったことでしょう。文化祭当日には体験教室も予定しています。ぜひ、お越しください。



南阿蘇村生涯学習支援クラブ「クラブ南阿蘇」事務局 藤本八千代
TEL(07)0182 FAX(07)3352
〒869-1404 南阿蘇村河陽3575(長陽中央公民館内)
URL: <http://cmaso182.ac-net.jp/>

mail: cmniamasoc@trad.ocn.ne.jp